

広報いわむろ秘蔵写真館

■ 26 ■

写真は語る

相撲大会(岩室)

この青年団相撲大会は毎年、招魂祭に披露(対戦)されたもので、村内各地区からその道の猛者が参加。地区の名誉と郡大会出場を懸けて熱戦が展開された。(昭和37年6月21日)



(写真=岩室村役場所蔵)

今月10日から大相撲の夏場所が始まりますが、今号の写真は昭和37年6月21日(推定)に岩室の招魂社で行われた「村青年団の相撲大会」をご紹介します。国技となる相撲も大相撲やアマチュア相撲を除いては、近くほとんど見かけなくなりましたね。しかし、昭和30年代までは村内各地(主に神社境内など)で、祭りとともに行われ、結構盛んだったようです。写真の大会は、地区対抗形式(村内を7つのブロックに分けた)で行われ

れ、郡大会への予選会も兼ねていたといいます。団体戦(5人)と個人戦(軽量級・中量級・重量級の体重別)で争われ力のこもった熱戦が繰り広げられたようです。もちろん、行司や審判員もいて、土俵に四本柱といった相撲独得の雰囲気があります。出場者は青年団員ということで、18歳前後から25歳までの若者が参加したようですね。そのためか?若い女性が観戦しているのも分かります。

今月の納税

軽自動車税
(全期)
納期限は
6月1日です

新潟市の解良義孝さんから
「父は心さん」のご冥福を祈られ
金七万円のご寄付がありました。

西船越の小林清司さんから
「母トイさん」のご冥福を祈られ
金十円のご寄付がありました。

新潟市の田中ウメさんから
報編集のために金三万円のご
寄付がありました。

北海道釧路市の高橋隆磨さん、
田中保さん、田中薰さん、柏木
登さん、柏木一男さん、宝賀興
夫さん、錦悦郎さん、本間秀春
さんから広報編集のために各
一万円ずつ合計八万円のご寄
付がありました。



松の木が危ない!

松くい虫による被害

現在、北陸地方から東北地方にかけて発生している「まつくい虫」による松枯れの被害が、岩室村の山林地帯でもかなり見られるようになつてきました。松枯れの原因は、「マツノマカラカミキリ」という昆虫を媒介して、「マツノザイセンチュウ」という虫が、松の樹脂道を侵し、それによつて樹脂細胞が壊されるために枯れてしまつます。

松くい虫の拡がりを防ぐため、村では調査を行い、山林で枯れた松の伐倒駆除(木の根元から切り倒す)を5月中ごろから6月中ごろにかけて行ひます。この伐倒駆除をする際、まわりの立木に枝折れなどの被害ができることもあります。また山林で被害にあつた松を見つけたかたはお手数でも役場農政課(☎②411-201・202)へご連絡ください。

立木に枝折れなどの被害ができることがあります。また山林で被害にあつた松を見つけたかたはお手数でも役場農政課(☎②411-201・202)へご連絡ください。

松くい虫の拡がりを防ぐため、村では調査を行い、山林で枯れた松の伐倒駆除(木の根元から切り倒す)を5月中ごろから6月中ごろにかけて行ひます。この伐倒駆除をする際、まわりの立木に枝折れなどの被害ができることがあります。また山林で被害にあつた松を見つけたかたはお手数でも役場農政課(☎②411-201・202)へご連絡ください。

立木に枝折れなどの被害ができることがあります。また山林で被害にあつた松を見つけたかたはお手数でも役場農政課(☎②411-201・202)へご連絡ください。

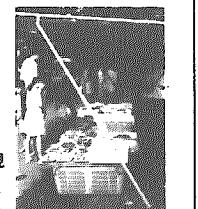
松くい虫による被害



観音法要

6月1日午前11時
越後七浦観音像前広場

間瀬高屋の自然
休養村管理センター前に立つ「越後七浦観音」。岩室村のシンボルの一つとして観光客などに大変親しまれています。この越後七浦観音の法要が行われます。出かけてみませんか。とき 6月1日(月)午前11時から会場 越後七浦観音像前の広場(雨の場合は管理センター白岩で行われます)



観光朝市

5月3日から岩室温泉街の慶覚寺境内で再開

毎年好評の「觀光朝市」が、今月3日(日)から毎週曜日の朝6時半から9時までオープンします。場所は岩室温泉街の慶覚寺境内。季節感を確実に伝えてくれる新鮮な野菜や魚などが並びます。どうぞお出かけください。また、昨年から始まった朝市宅配便も人気です。ふるさと岩室の味を遠く離れている友人・知人・親せきに送ってみませんか?喜ばれること受けあいで。申込みは岩室村商工会(☎②3209)か直接朝市会場で。